

漢方臨床医会

痛みと漢方

平田道彦 / 平田ペインクリニック (糟屋郡)

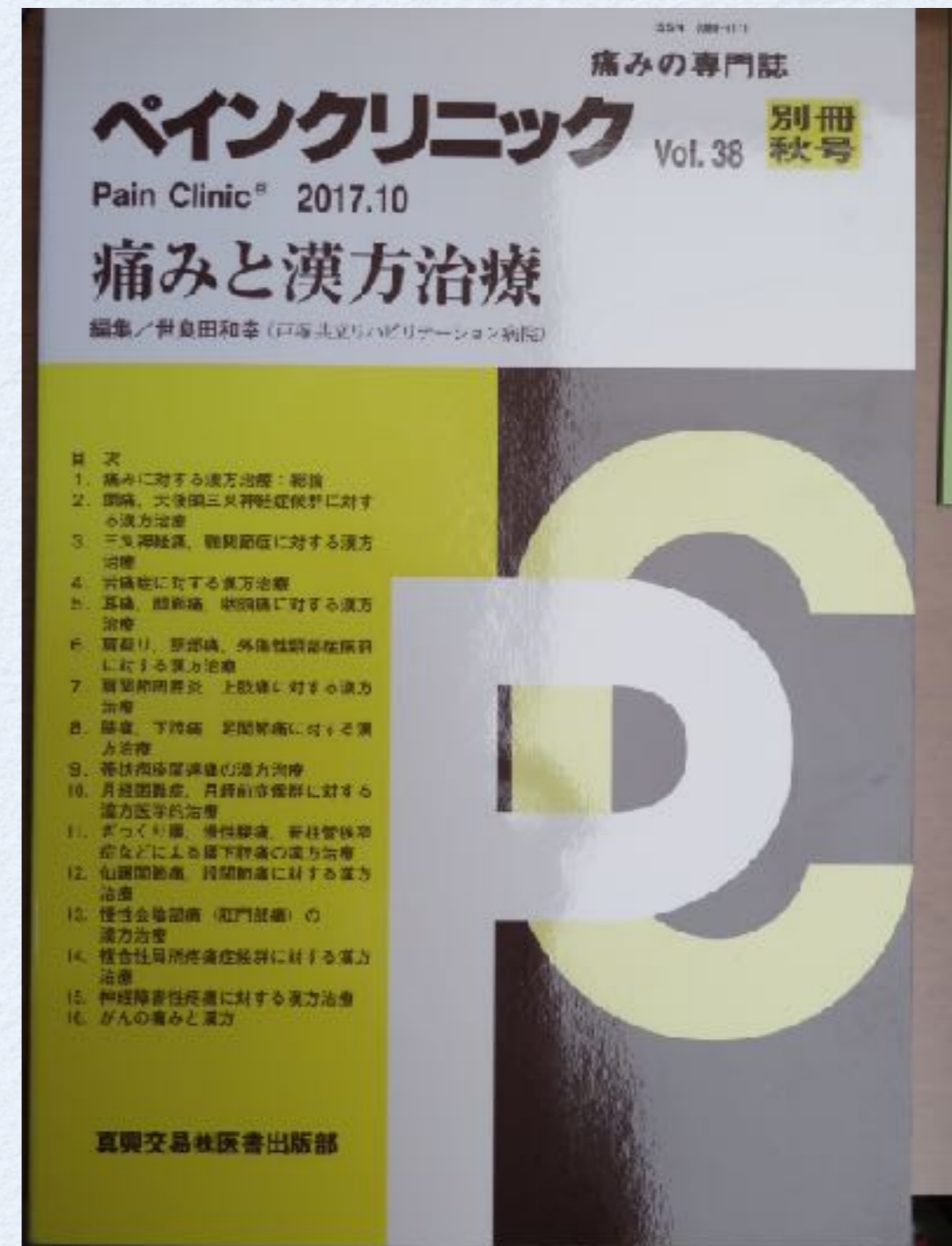
2017・11・11 / 東京都

利益相反

- ・ 本講演に関する利益相反はありません。

昨今は、

- ・ 「痛みの治療に漢方を」ということが、だんだん広がってきました。
- ・ 痛みの治療の専門誌「ペインクリニック」の9月号には「薬のコーナー」に**治打撲一方**が紹介され、
- ・ 先日、発刊された別冊秋号は「**特集；痛みと漢方治療**」（世良田和幸先生編集）です。



自己紹介

- ・ 1985年に佐賀医科大学麻酔科入局。
- ・ 2000年より織部和宏先生（大分市、織部内科クリニック）に師事。
- ・ 2004年よりは山田光胤先生に師事。山友会門下生となる
- ・ 2009年より、痛みの治療を主軸に、ペインクリニック・漢方内科で開業しています。

自己紹介

- ・ しかし，2000年当時，私はアンチ漢方の徒のひとりでありました。
- ・ 漢方なんて，西洋医学的にぱっとしない連中のやることだと，鼻から相手にしていませんでした。
- ・ 痛みは，神経ブロック。だめなら，抗うつ剤などの薬物治療でなんとかかなると堅く信じていました。

帯状疱疹

- ・ 2000年の夏のある日、一人の患者さんがペインクリニック外来にいられました。
- ・ 78歳、男性；右上肢の帯状疱疹。発症して2週間目。
- ・ 腫れて、痛くて、力も入らない。



帯状疱疹

- ・ 入院下に神経ブロック.
- ・ 鎮痛剤, 鎮痛補助剤, 局所麻酔薬・ケタミンの点滴など
- ・ 痛みが取れず, 眠られず, 食事も十分に取れず, 衰弱していった。
- ・ その当時, 私ができることはすべて試した.
- ・ しかし, 回復傾向はなかった.
- ・ . . . 本当にこのまま, 亡くなってしまおうんじゃないか.

帯状疱疹

- ・ ある日の夕方、患者さんの様子を見に部屋に行くと、季節は夏であったが、毛布をかぶって寝ている。
- ・ 痛がる腕にお湯で暖かくしたタオルが巻かれてあった。
- ・ 付き添う奥さんにたずねると、「こうして温めると痛みがすこし楽になるというものだから・・・」
- ・ ふと、ある論文を思い出した。
- ・ 「入浴するなどして、患部を温めると楽になる痛みには麻黄附子細辛湯が効く」

経過

- ・ それだけを頼りに，偶然その病院にあった麻黄附子細辛湯を処方した。
- ・ その日の夕方処方して，夜に1服
- ・ 次の日の朝，1服

経過

- ・ 翌日、麻酔をかけている私に、病棟から電話があった。
- ・ 「先生、Sさんが歩いています！」
- ・ 急いで病棟に駆け上がった私に、Sさんは歩きながら、手を振って挨拶された。
- ・ 目を疑う光景だった。

「あのお薬は何か特別な眠り薬なんですか。」

西洋医学では・・・

- ・ 帯状疱疹後疼痛に対して神経ブロックを行うこともある。
- ・ 薬物的には、三環系抗うつ薬、抗けいれん薬、NSAIDsなどが適応とされる。
- ・ しかし、このような症例には、かえって体を冷やすばかりで、痛みを助長してしまう。
- ・ 西洋医学の治療体系に、患者の体の熱の産生量に対する注意はない。
- ・ 私がまさにそうでした。

寒・熱

- ・ 変形性膝関節症をはじめとする関節の痛みも、NSAIDs 一辺倒では太刀打ちできないことがあります。
- ・ まず診るべきは「寒・熱」です。

膝痛

- ・ 56歳，男性；右膝が痛い。
- ・ 5年以上前に，車の整備で踏ん張って押した時から痛い。
- ・ 温めるといい。冬のたびに痛くなる。
- ・ 20代にバイク事故で右膝を手術したことがある。

膝痛

- ・ 筋肉質
- ・ 舌裏静脈もあまり怒張していない。
- ・ 膝関節も腫れてはいない。
- ・ 熱感はない。
- ・ 暖めると楽になること・冬場に悪化することから附子剤の適応

膝痛

- ・ 桂枝加朮附湯 7.5g 分3 食間
- ・ 1週間後；「今日は寒いですが、痛くない。」 「便通が良くなった。」
- ・ 1週間後；「ほとんど痛くない。」



膝痛

- ・ 56歳、男性。；ひざ痛
- ・ 2ヶ月前にゴルフ中に痛くなって、後半廻れなかった。
- ・ スポーツ整形で治療しているが治らない。
- ・ 痛む膝に熱感がある。
- ・ 舌診、顔色から瘀血証
- ・ 熱感があることから、麻黄・石膏の入った方剤
- ・ 瘀血証だから、駆瘀血剤

膝痛

- ・ 越婢加朮湯7.5g・桂枝茯苓丸加薏苡仁7.5g 分3 食間
- ・ 1週間後；「10→5」 治打撲一方の圧痛を認める。
- ・ 越婢加朮湯5g・桂枝茯苓丸加薏苡仁5g・治打撲一方5g 分3 食間
- ・ 1週間後；「だいぶいい感じ。」
- ・ 2週間後；「治りました。」

膝痛



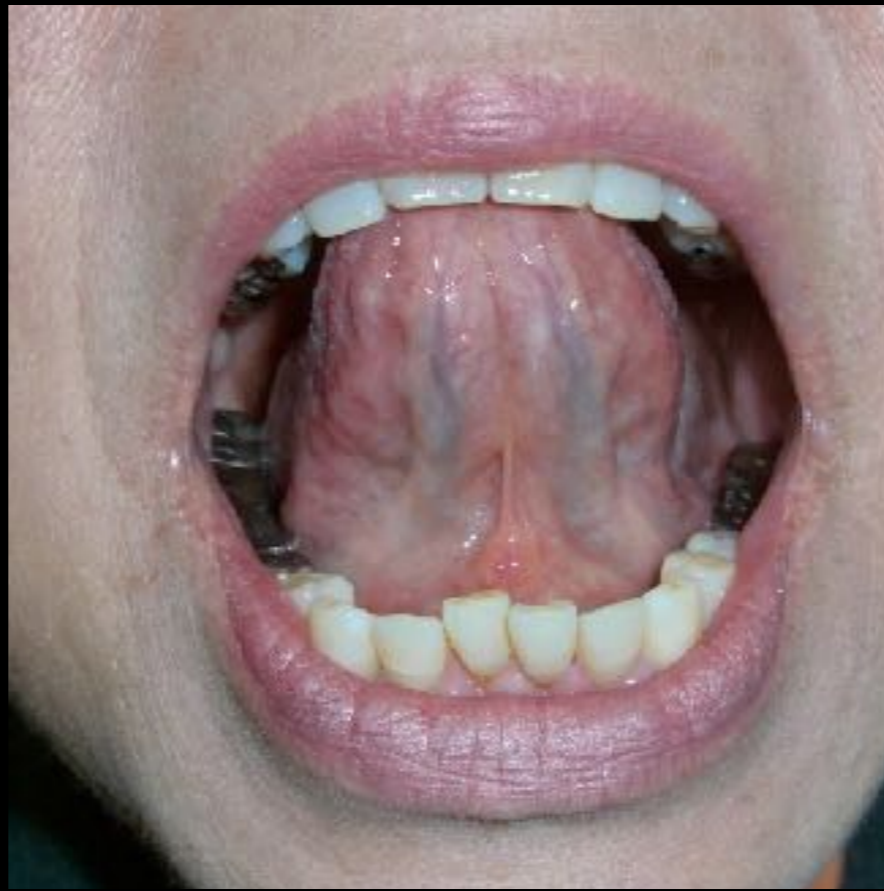
治打撲一方

- ・ 外傷性の痛みをはじめとして、骨関節の変形に起因する痛みまで幅広く使える。
- ・ 急性期から、慢性期、超慢性期まで効果がある。
- ・ 治打撲一方の圧痛は有用
- ・ 古い症例には附子（附子剤）を併用
- ・ 気・血・水の異常に配慮して適宜合方，加味をする。



瘀血

- ・ 末梢循環が滞った状態
- ・ 顔色，口唇の色，皮下の血管の状態などで判断する。



舌の裏面（静脈の怒張と瘀血斑）



暗紅、瘀血点



暗紅～紫舌



両膝痛

- ・ 68才、女性 10年前から両膝が痛い。
- ・ 2週間に1回、近医整形外科で両膝にヒアルロン酸注射をしている。
- ・ 長時間の歩行，屈曲時、痛くて、正座ができない。
- ・ 瘀血症状著明。水太り
- ・ 駆瘀血するとともに水湿をさばくことが必要

両膝痛

- ・ 桂枝茯苓丸加薏苡仁5g・防已黄耆湯5g 分2 朝、夕 食間
- ・ 5週間後；「左膝が痛い。」
- ・ 熱感を認める。
- ・ 桂枝茯苓丸加薏苡仁5g・防已黄耆湯5g・越婢加朮湯後 5g 分3 食間

両膝痛

- ・ 2週間後；「起床時、歩く時、左の足が上がりにくい時がある。」
- ・ だいぶ熱感は取れてきたが、まだ少し残る。
- ・ 3週間後；「一部治った。」
- ・ 9週間後；「たいへん良い。治った。」

両膝痛



膝痛などの足の関節痛

- ・ 腫れている場合は防己黄耆湯証が多い。
- ・ 全身的にも浮腫っぽくて、色白で、よく言われる有閑マダム風。汗かき。
- ・ 熱感があれば、越婢加朮湯や桂芍知母湯を併用
- ・ 外傷の既往があつたり、治打撲一方の圧痛があれば、治打撲一方を併用
- ・ 瘀血証があれば（舌裏静脈怒張・膝関節周囲の静脈の怒張など）桂枝茯苓丸加薏苡仁の併用

膝痛などの足の関節痛

- ・ 熱感がないなら，桂枝加朮附湯，附子の併用
- ・ 治打撲一方，桂枝茯苓丸加薏苡仁は適宜併用。
- ・ 膝関節周囲の皮膚が乾燥気味で，突っ張っている感じ・・・大防風湯
- ・ 膝の裏側が突っ張っていている場合は，芍薬甘草湯

冷えを取る方剤

- ・ 附子や乾姜を使った方剤はもちろんですが、
- ・ 当帰四逆加呉茱萸生姜湯も忘れられません。

当帰四逆加呉茱萸生姜湯

- ◎ 当帰、芍薬、桂枝、細辛、呉茱萸、木通、生姜、大棗、甘草
- ◎ 冷えに誘発され、増悪する腰痛に使う。
- ◎ やせ型の冷え症で顔色が悪く冬季には凍傷にかかりやすい。
- ◎ 腰痛、腹痛、下痢、頭痛を起こしやすい。
- ◎ 四肢の先の方が冷えるもの。しもやけの既往。
- ◎ 脈は沈、細。消え入りそうな脈
- ◎ 舌は淡白、湿潤、無苔。時に薄い白苔。
- ◎ 腹候；腹皮拘急、腹部全体は軟弱。

顔面神経麻痺

- ◎ 54歳、女性；ベル麻痺.
- ◎ 発症して4カ月後ほとんど改善せず。





(初) 1月29

3月9日

4月6日

- 日
- 桂枝加朮附湯合四物湯
 - 葛根加朮附湯合四物湯
 - 柴苓湯
 - 十全大補湯
 - 加味八仙湯

3月9日





初診



約1月後



約3月後

約4月後、当帰四逆加呉茱萸生姜湯投与

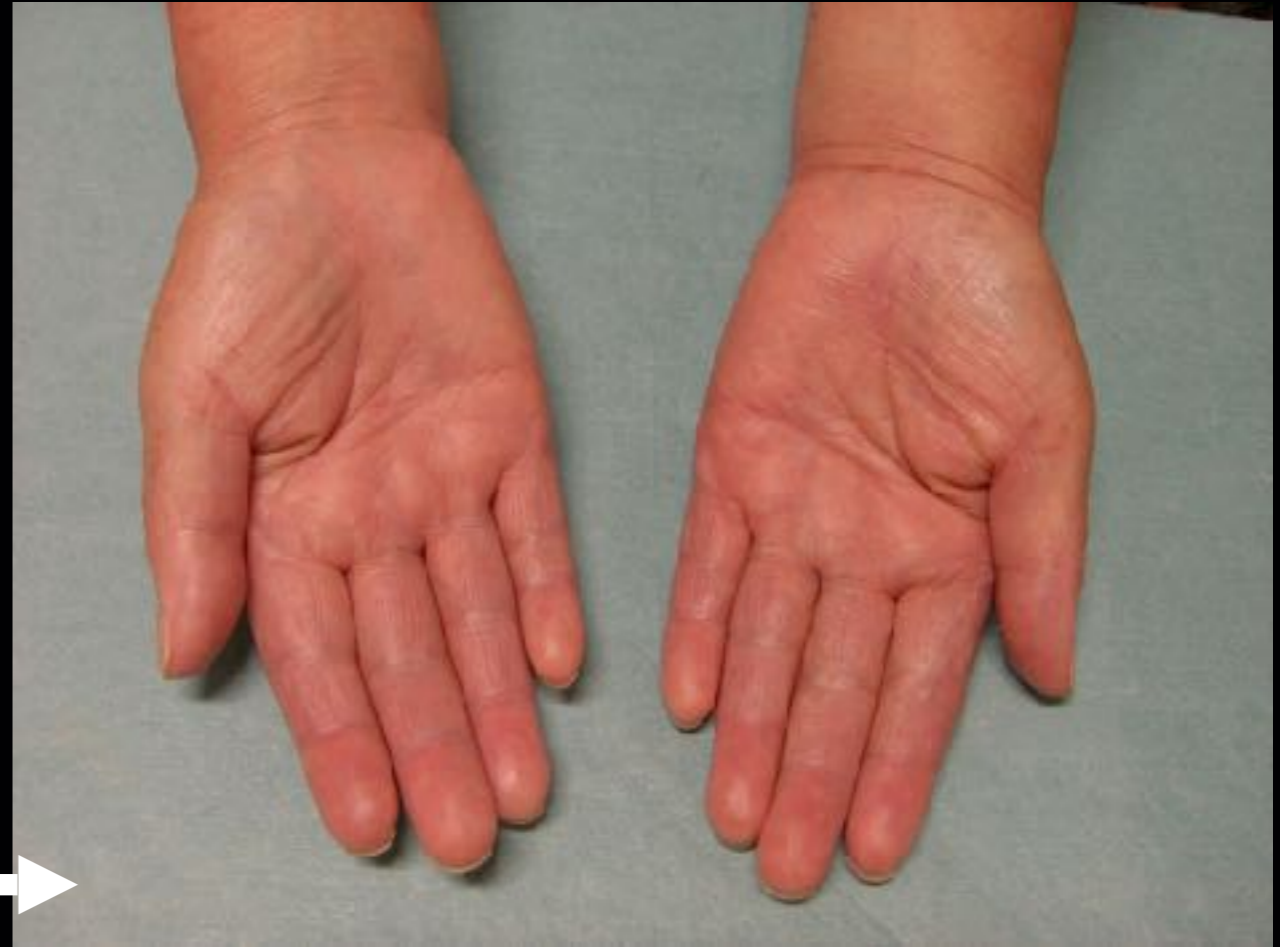


約6月後



約5月後





当歸四逆加吳茱萸生姜湯投与、3 週間後

ひどいしもやけ

- ◎ 78才、女性。
- ◎ インフルエンザ予防接種の問診票に「しもやけ」と記載。
- ◎ もう、ずっと悩んでいる。
- ◎ 「中指はだめになるかもよ。」、と言われているが治療らしいことはされないし、そのままにしている。
- ◎ 当帰四逆加呉茱萸生姜湯・桂枝茯苓丸





肩関節

- ・ 肩も同じように考えますが，膝と少し違う．
- ・ からだの上の方にある余分な水分やうっ血（浮腫や瘀血）を下方へ流すような印象で治療する．

肩痛

- ・ 64歳，女性；右肩痛
- ・ 1年前から整形外科に通院。電気と痛み止め
- ・ 石灰沈着を指摘されている。
- ・ 水太り，沈細，舌裏静脈怒張，紫舌，治打撲一方の圧痛あり，軽度の胸脇苦満。便秘症

肩痛

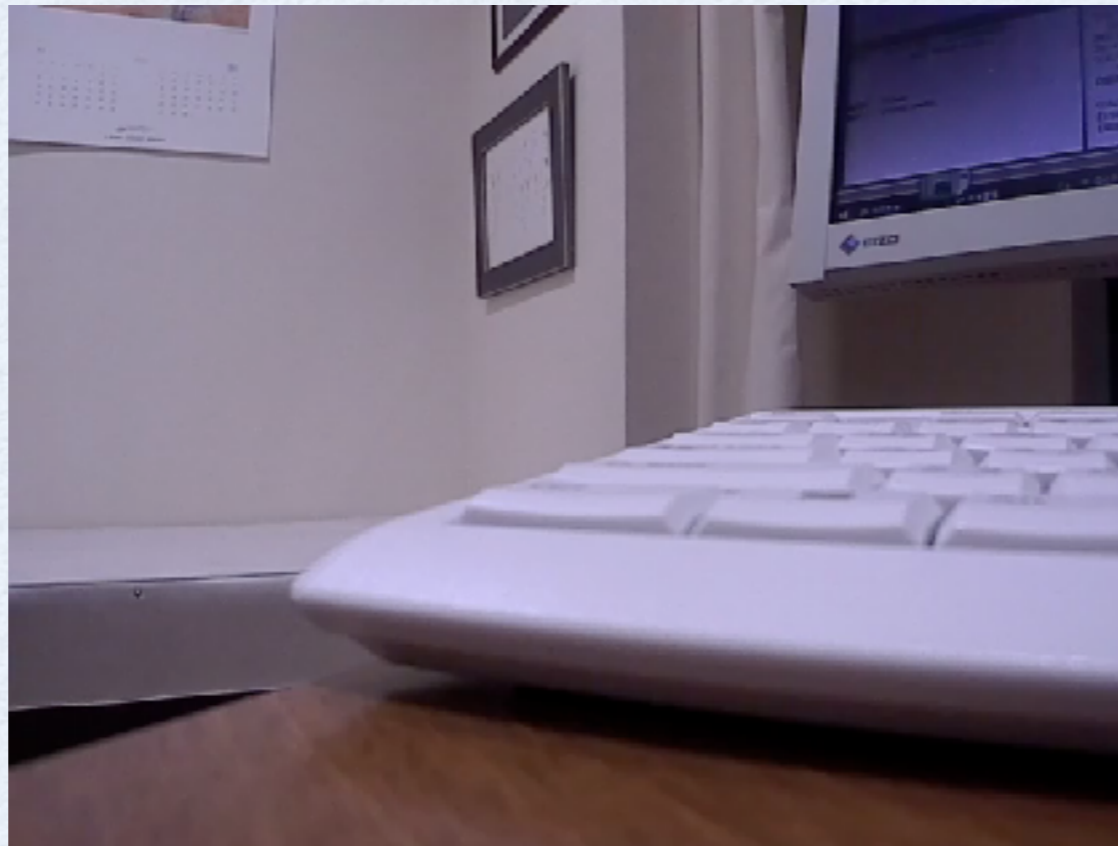
- ・ 駆瘀血する必要があるが、治打撲一方の圧痛があるので、なんらかの外傷性の要因があるのだろう。古いので附子も入れる。
- ・ 肩関節周囲の瘀血を解消するために、「上下の疎通」が必要と考える。・・・柴胡剤
- ・ この症例では、便秘があるので大柴胡湯を選択したが、。

肩痛

- ・ 治打撲一方5g・桂枝茯苓丸加薏苡仁5g・大柴胡湯5g・加工附子末1g 混合 分3 食間
- ・ タガメット 2錠 分2 1朝, 夕食後
- ・ 2週間後; 「少しいい感じ, エアコンつけて寝ると悪い. 便秘は良くなった。」
- ・ あまり, 効いていない.
- ・ 「冷え」の関与が目立ってきた.
- ・ 胃腸を元気にして, 冷えに対処する方剤・・・五積散

肩痛

- ・ 治打撲一方5g・桂枝茯苓丸加薏苡仁5g・加工附子末1g
- ・ 五積散5g 分2 早朝・15時
- ・ 2週間後；「良くなった。」



肩痛

- ・ 肩関節には、二朮湯と言われますが、それほどヒット率は高くない。
- ・ 二朮湯は肩関節周囲の浮腫を軽減するのが主意ですが、
- ・ それを実現するために、
- ・ 方剤中に六君子湯が入り、上部消化管の機能を改善し、
- ・ 柴胡を入れて、横隔膜の緊張を緩和して、上半身と下半身の疎通を良くしています。

肩痛

- ・ ですから、二朮湯だけでうまくいかない時は、上部消化管や横隔膜への働きを強める必要があるわけです。
- ・ また、瘀血や冷えには対応していませんから、局所の状態や体質的に瘀血症や冷えがあれば、駆瘀血剤、附子剤を加えなければ効きが悪いことになります。

急性の運動器痛には治打撲一方の適応が多い

- ・ 治打撲一方の圧痛はぜひ確認しましょう。





子供の股関節痛

- ・ 6才、男児 体育で転倒してびっこ引き出した。
- ・ 明日、運動会。
- ・ 治打撲一方の圧痛を認める。
- ・ 治打撲一方2.5g 分2 朝・夕食前
- ・ 1週間後；、、、



腰痛

- ・ 17歳，女性；高校生・バレーボール部
- ・ 5ヶ月前にバレーボールの練習をしていて，腰が痛くなった。
- ・ 整骨院に行って少し楽になったので，また練習していると悪くなった。
- ・ 座位・立位で痛くなる。左の腰が特に痛い。
- ・ 仰臥位では痛くない。足まで痛みは来ない。

腰痛

- ・ 元気な感じ
- ・ 治打撲一方の圧痛著明. 軽度の胸脇苦満
- ・ 治打撲一方5g・加工附子末1g 分2 朝、夕食間
- ・ 1週間後；「三日目に痛くなくなった。」

腰痛



転落後の激しい腰痛

- 1ヶ月前に2mから転落。右半身を打撲。
- 右の腰、臀部、下肢に激痛が走る。
- MRIで骨折、その他の変形はなく、
- 入院して安静、加療したが痛みが全く取れず、
- 坐骨神経の直接損傷ではないかと、整形外科医から紹介。



何故、治らないのか？

- ❁ 整形外科医にも打撲による何らかの組織のダメージによる痛み、という認識はある。
- ❁ それを治療するにあたっての、病理・病態認識が狭くて、手段があまりに画一的。

考えるべきは、

- ❁ どんな人が、どこをどういう風にやられたか？
- ❁ 水毒証の人が、打撲した。



経過

- 大柄で、いかにも水太りの女性・・・防已黄耆湯
- 落ちた！・・・治打撲一方
- 防已黄耆湯7.5g・治打撲一方7.5g 分3 食間
- 毎食間1週間後；「寝起きはだいぶ楽だが、まだ座っているとかなり痛くなる。」
- 同方継続 2週間後；かなり改善。



圧迫骨折

- ・ 91歳、女性
- ・ 1月半前に圧迫骨折
- ・ 右半身が痺れる。
- ・ 舌は瘀血所見あり。

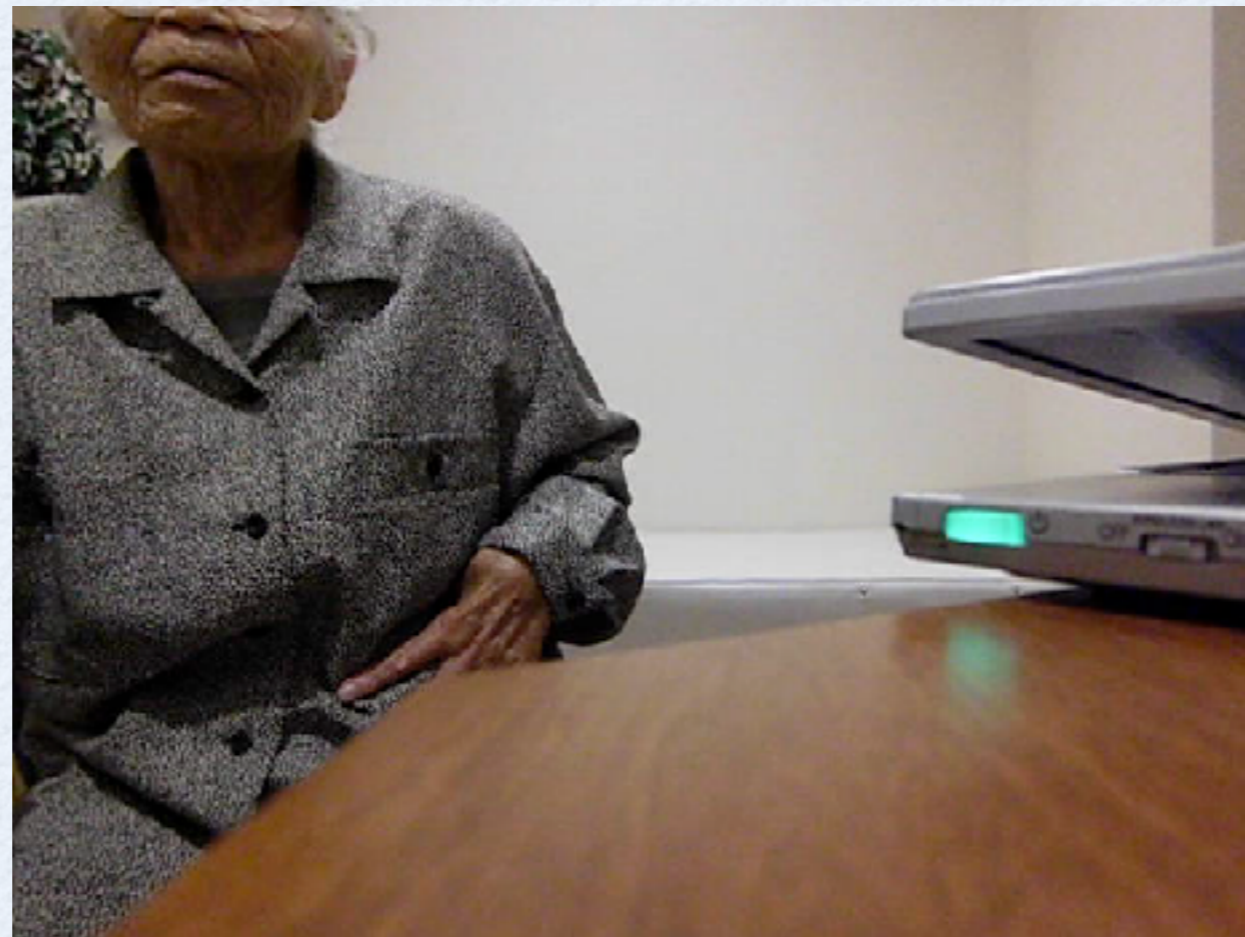


こう考える。

- ・ 圧迫骨折という外傷による痛みである。 ・ ・ 治打撲一方
- ・ 超高齢者である。高齢者は、熱の産生量が減少していて、下半身の冷えが強い。
- ・ 「腎虚」；基本的な体力が低下している。
- ・ 「腎」を暖めて元気を付ける方剤を使った方が、他の薬の効きも良い ・ ・ ・ 八味地黄丸
- ・ それに、「瘀血」の傾向を考えて ・ ・ ・ 桂枝茯苓丸

經過

- 治打撲一方5g · 八味地黄丸5g · 桂枝茯苓丸2.5g · 附子末1g
分3 食間



肋間神経痛？

- ・ 原因がよくわからないの痛み胸脇部の痛みに、肋間神経痛という診断名が付きます。
- ・ 漢方では、肋骨や肋間筋にダメージがある時も、はっきりしない時も、胸脇部痛に対して柴胡疎肝湯ベースに使います。

柴胡疎肝湯

- ・ 柴胡疎肝湯；四逆散＋香附子・川芎・青皮
- ・ ≡ 四逆散・香蘇散・（四物湯）
- ・ 「左胸脇痛を治す。」
- ・ 香附子；肝経（陰部～下腹部～胸郭～乳房～咽喉～眼の奥～舌根部～唇の裏～前額部～頭頂部）に入る。

胸が痛い

- ・ 52歳、男性；胸脇部痛
- ・ 5、6年前に左脇に刺すような痛みがあった。最近、毎日、刺されるような痛みがある。
- ・ 動いたときに痛い。深呼吸は問題ない。入浴中は痛くない。
- ・ 体が痒い
- ・ 実証の男性・胸脇苦満軽度・治打撲一方の圧痛なし・乾燥肌

胸が痛い

- ・ 病理・病態はよくわからないが、
- ・ 四逆散5g・香蘇散5g・当帰飲子5g 分3 食間
- ・ 1週間後；「刺すような痛みは無くなった。」 「ジンジンするだけ。」
- ・ 同方継続

胸が痛い



帯状疱疹後神経痛

- ・ 63歳、男性
- ・ 8年前に帯状疱疹になり一度良くなったが、また痛くなって、その後ずっと痛みが続いている。
- ・ いろいろな治療をしてきたが良くならない。
- ・ 4, 5年前に治験薬も試したが、湿疹が出て続けられなかった。
- ・ 左Th4. 自発痛

帯状疱疹後神経痛

- ・ 大柄、実証 便秘はない
- ・ 胸脇部の帯状疱疹後神経痛なので、
- ・ 柴胡疎肝湯（四逆散・香蘇散・四物湯）の方意で、
- ・ 大柴胡去大黄湯・香蘇散・四物湯
- ・ 経過が長いので、附子末

带状疱疹後神経痛

- ・ 大柴胡去大黄湯7.5g・香蘇散5g・四物湯5g・附子末1g
分3 食間
- ・ 1週間後；「軽くなった。10→7」



急性の腰下肢痛

- ・ 根性痛を伴う場合；疎経活血湯
- ・ 寝返り時の痛みがある場合；治打撲一方、桂枝茯苓丸
- ・ 寒冷刺激による急性腰痛には桂枝加朮附湯などの附子剤を考える。
- ・ 以上に加えて、芍薬甘草湯を合方しておくとも早い効果を期待できる。
- ・ 治打撲一方・疎経活血湯・芍薬甘草湯
- ・ 治打撲一方・芍薬甘草湯
- ・ 桂枝茯苓丸・芍薬甘草湯

慢性の腰下肢痛

- 慢性となった腰痛は病理病態が複雑で、それぞれ随証的な処方が必要となることが多い。しかし、以下の要点に沿っての処方から始めて大きく外れることはない。
- 1, 入浴で痛みが軽くなる場合；附子もしくは附子が配剤された方剤；桂枝加朮附湯、八味地黄丸、麻黄附子細辛湯など
- 2, 夜間痛みが増強する場合；桂枝茯苓丸・桂枝茯苓丸加薏苡仁、疎経活血湯など
- 3, 治打撲一方の圧痛が認められる場合；治打撲一方
- 4, 痛みが長年にわたる場合；附子もしくは附子が配剤された方剤
- 5, 高齢者の場合；八味地黄丸、牛車腎気丸
- 6, 腰部臀部の冷感が強く尿量が多い場合；苓姜朮甘湯

腰部脊柱管狭窄症

- ・ 脊柱管狭窄症；高齢者の腰下肢痛で脊柱管狭窄症が痛みの主因と考えられる場合、牛車腎気丸に駆瘀血剤と補血剤を合方して用いる。
- ・ 牛車腎気丸・桂枝茯苓丸・四物湯
- ・ 牛車腎気丸・当帰芍薬散

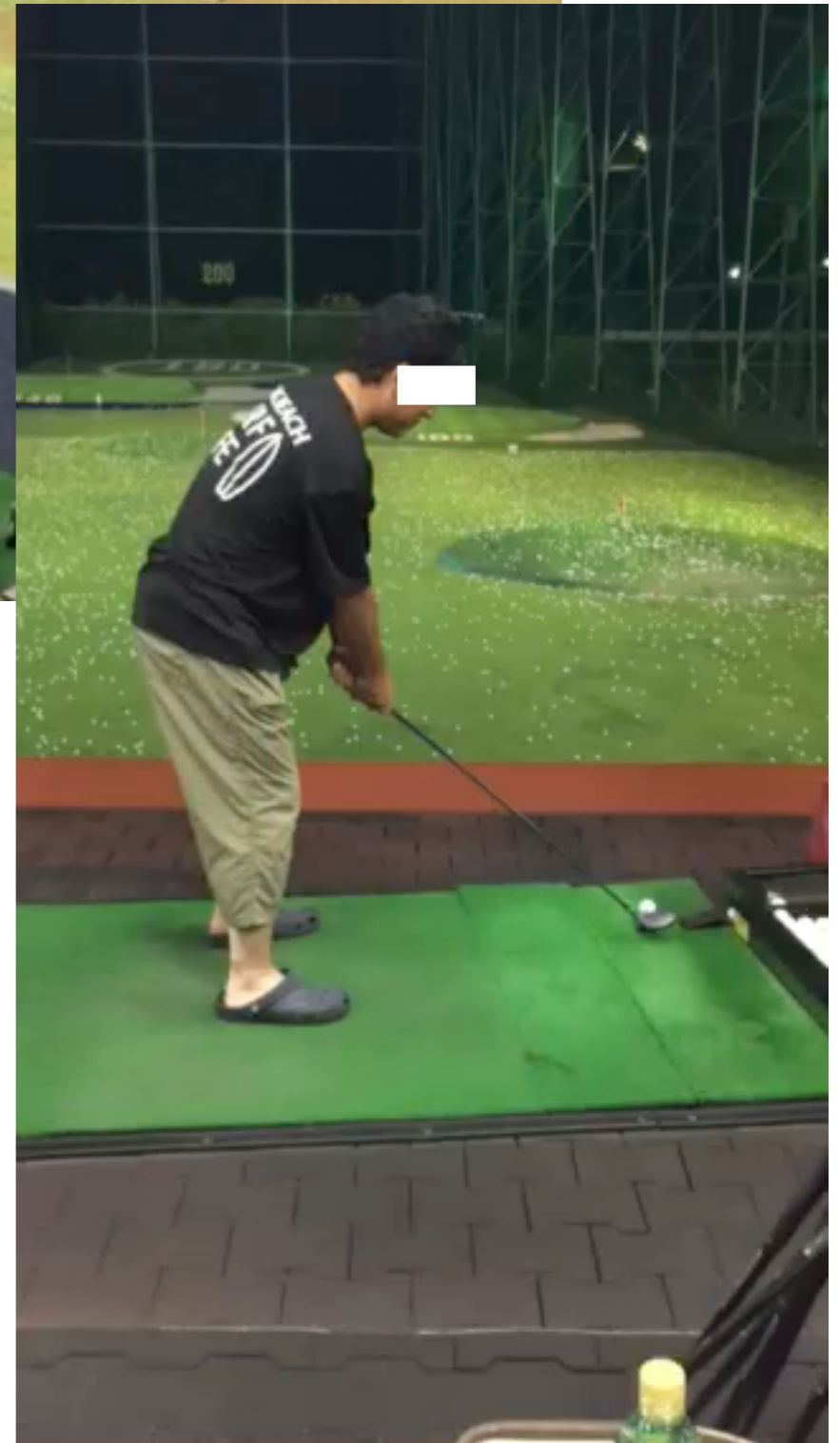
- ・ また、下肢筋肉の萎縮を伴う場合、大防風湯・桂枝茯苓丸・附子の合方が奏効することが多い。

急性腰痛

- ・ 59歳，男性；3日前に熱心にゴルフの練習をした。
- ・ 途中から右の腰が痛くなったが，スウィングが悪いせいだろうと，修正しながら続けて打った。その晩から寝ていても右腰が痛い。
- ・ 翌日，ストレッチ系のマッサージに行って，下半身を中心に引っ張ってもらった。少し良くなった気がするが，やはり痛い。

急性腰痛

- ・ 週末にどうしても負けられないゴルフがあるので、このままではいけないと思って、治打撲一方の圧痛点を自分で探ると、右臍傍に確かにある。
- ・ 治打撲一方2.5g・桂枝茯苓丸2.5gを飲んで休んだ。
- ・ 翌日、歩いても痛くないが違和感がある。朝、眠前に服用。
- ・ 翌日、ほとんど違和感がない。



急性の腰下肢痛

- ・ 65歳，女性；右の臀部から膝が痛い。
- ・ 長年，整形外科で電気治療を受けてきたが無効。
- ・ 怪我をしたとかひねったとか，きっかけはない。
- ・ 最近2時間バスに乗って，硬直して以来，悪い。

急性の腰下肢痛

- ・ 顔色不良・水太り・沈細・舌裏静脈怒張は薄い。腹診はガマバラ
- ・ 瘀血・・・桂枝茯苓丸加薏苡仁
- ・ 水湿・・・防已黄耆湯
- ・ 硬直・・・芍薬甘草湯
- ・ 長く痛んでいる・・・附子

急性の腰下肢痛

- ・ 桂枝茯苓丸加薏苡仁5g・防己黄耆湯5g・芍薬甘草附子湯3g 分3 食間
- ・ 1週間後；「なんか少しずついい感じで、痛いということがなくなった。」



坐骨神経痛

- ・ 72歳、女性；数ヶ月前から、腰からふくらはぎにかけて痛い。
- ・ 整骨院でマッサージを受けるけれど治らない。
- ・ 左L5神経根症状
- ・ MRI； L4/5 ヘルニア
- ・ HbA1c 7.0%

坐骨神経痛

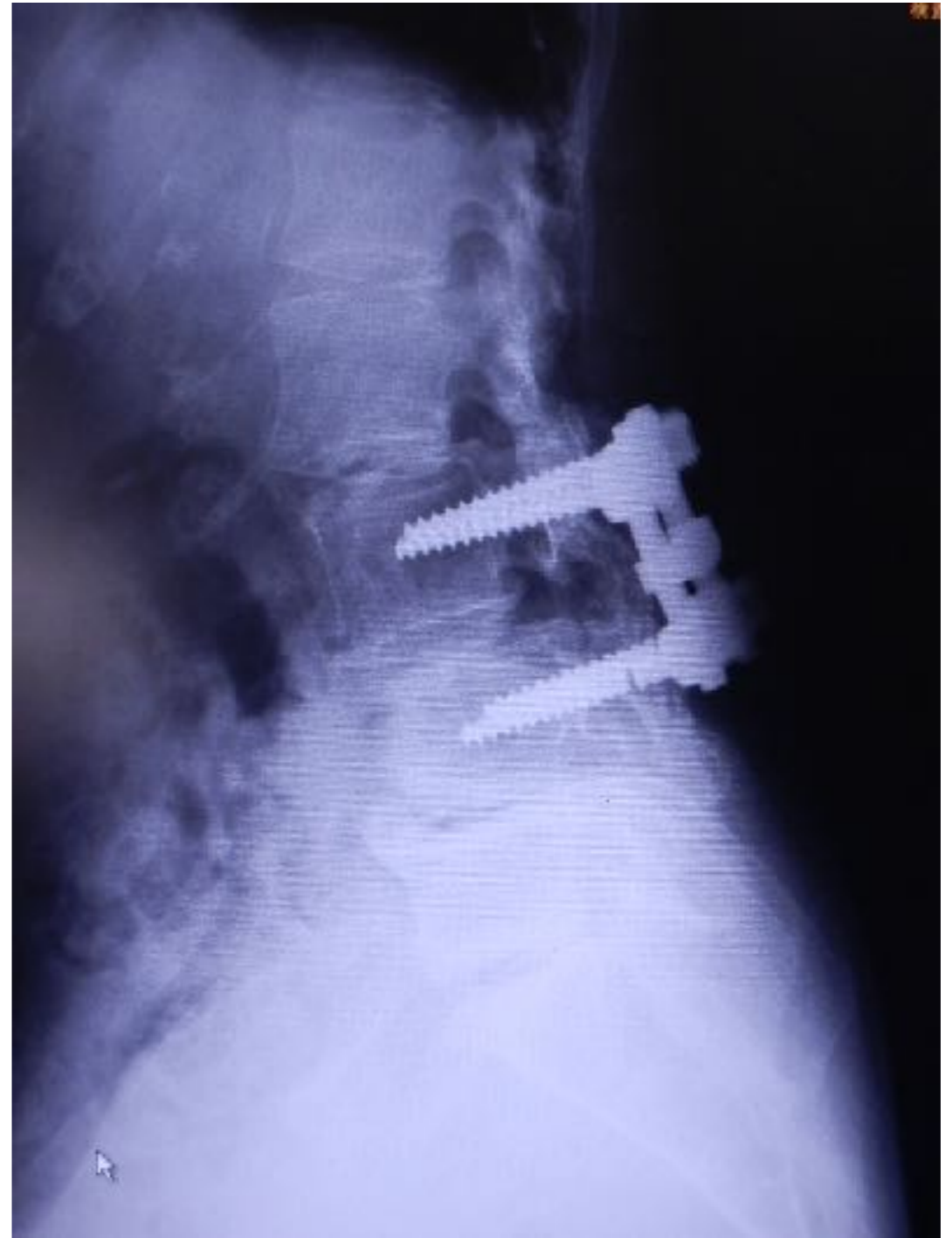
- ・ 水太り
- ・ 舌裏静脈怒張
- ・ 桂枝茯苓丸加薏苡仁5g・防己黄耆湯5g 分2 10時・20時
- ・ 2週間後；「軽くなった。」
- ・ 同方継続 2週間後；「かなりいい感じ。」

坐骨神経痛

- ・ おそらく脊柱管狭窄，あるいは椎間板の異常があつて，神経根への一次的な圧迫があつた。
- ・ 神経ブロックも適応となるが，まずは「気・血・水」の異常を是正する方向で治療してみる。
- ・ それでダメなら，一度ブロックしてもいいかもしれない。

手術後の腰痛

- ・ 67歳、女性；半年前から左の腰下肢痛、しびれ。
- ・ 起き上がるときに痛い。
- ・ 15年前に腰椎の手術をしたが、1年半でボルトが折れた。整形外科はそのままでもいいというので、放置。
- ・ その後溶連菌感染で腎炎となり、現在もステロイドを服用中。
- ・ 以前漢方がよく効いたので、その漢方医から紹介された。



手術後の腰痛

- ・ 顔色不良
- ・ 沈緊脈
- ・ 舌裏静脈怒張
- ・ 腹力弱で、治打撲一方の圧痛あり 小腹不仁

手術後の腰痛

- ・ 治打撲一方5g・桂枝茯苓丸加薏苡仁5g 分2 10時・20時
- ・ 八味地黄丸 2.5g 15時
- ・ 2週間後；「4, 5日悪かったが、その後、楽になった。
10→4」
- ・ 同方継続 2週間後；「だいぶんいい。」「ずっと立っていると痛い。」
- ・ 同方継続 2週間後；「治った。」
- ・ 同方継続 2週間；・・・

手術後の腰痛

